AJCE
ASSOCIATION OF JAPANESE CONSULTING ENGINEERS
FIDIC MEMBER ASSOCIATION
Bunkoh-doh Bldg., 3-16-4 Ueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0005 Japan
TEL +81(3)3839-8471　FAX +81(3)3839-8472
E-mail info@ajce.or.jp　URL www.ajce.or.jp

平成 26 年 11 月吉日

関係者　各位

(公社)日本コンサルティング・エンジニア協会
会長　内村　好
技術交流委員会委員長　田中　宏

AJCE　技術交流セミナー2014

イノベーションとビジネスモデル
―成功への道のりと展望―

ご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当協会活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

（公社）日本コンサルティング・エンジニア協会(AJCE)は、技術に立脚した公正なコンサルティング・サービスを提供する知的専門家であるコンサルティング・エンジニアの品位の確立・技術の向上・国際連携の促進を図り、海外コンサルティング・エンジニアとの技術交流およびその成果の普及に関する事業を行い、コンサルティング・エンジニアの技術の発展と科学技術の振興を通して広く社会に貢献することを目的として活動をしております。

技術交流委員会は異種技術の交流とコンサルティング・エンジニアの資質向上・業務開発を目的に活動を続けております。

活動の一環としてこのたび、下記のプログラムにて技術交流セミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 日　時　　平成26年12月4日（木）14:00 ～17:00　（受付：13:30～）

2. 会　場　　㈱建設技術研究所　10階　会議室　（別紙地図参照）
　住所：〒103-8430　東京都中央区日本橋浜町3-21-1　（日本橋浜町Ｆタワー）
　電話：03（3668）0451

3. 定　員　　40名（申込み先着順）

4. プログラム

13:30－14:00　受付
　司会：　AJCE監事、技術交流委員会委員　花岡　浩
14:00－14:05　開会の辞：
　AJCE会長　内村　好
14:05－14:45　『イギリス高速鉄道の契約への道のりと今後の課題』
　（株）日立製作所　技監　鈴木　學
14:45－15:25　『モンゴル国の鉄道プロジェクト』
　日本工営（株）鉄道計画部次長　仲野　哲人

15：25－15:35　－　コーヒーブレイク　－

15:35－16:15　『天気予報・数値予報あれこれ』
　（公社）日本気象学会　会員　平木　哲
16:15－16:55　『植物工場』
　創造工学研究所 所長、技術交流委員会委員　平野　輝美
16:55－17:00　閉会の辞:
　AJCE理事・技術交流委員会委員長　田中　宏

5. 参加費
　AJCE会員企業　2,000円（資料代込み）、一 般　3,000円（資料代込み）

6. お申込み方法　申込み用紙に必要事項をご記入の上、
　Fax 03-3839-8472 または info@ajce.or.jpにてお申し込み下さい。

7. お振込み先　参加費は、お申込日から３営業日以内に下記口座へお振込み下さい。
　振込み先銀行口座　　みずほ銀行　上野支店
　口座名　　公益社団法人日本コンサルティング・エンジニア協会（コウエキシャダンホウジンニホン…キョウカイ）
　口座番号　　普通預金　４０４６４７１
　お振込み頂きました参加費はご返却できませんのでご了承下さい。

8. 申込み締切り　平成26年11月28日（金）　必着

9. お問合せ　〒110-0005　東京都台東区上野3-16-4（文行堂ビル3階）
　（公社）日本コンサルティング・エンジニア協会事務局
　電話 03-3839-8471
　Ｅ－mail：info@ajce.or.jp

以上

㈱建設技術研究所　10 階　会議室

住所：〒103-8430　東京都中央区日本橋浜町 3-21-1

東京メトロ	日比谷線	人形町駅	A1 出口	徒歩 9 分
東京メトロ	半蔵門線	水天宮前駅	A5 出口	徒歩 5 分
都営浅草線		人形町駅	A3 出口	徒歩 9 分
都営新宿線		浜町駅	A2 出口	徒歩 4 分

～～セミナー講師～～

鈴木　學　 株式会社日立製作所 交通システム社 技監

日立製作所は、イギリス国内の高速鉄道市場に参入するため、市場性調査、技術開発、調達方法などに取り組み、高速鉄道の契約を締結するに至った。講演では、①日立の鉄道ビジネスの概要、②鉄道技術の開発推移、③英国市場への挑戦、④PPP案件へのチャレンジ(英国都市間高速鉄道)、⑤日立の英国での展開等、について紹介する。

1972年3月東京大学経済学部卒業後、同年株式会社日立製作所に入社し、1992年 2月　営業本部 交通部長、2003年 4月 電機グループ 交通システム事業部長、2005年8月執行役常務、2007年 4月 執行役常務 電機グループ長＆ＣＥＯ、2009年10月 執行役常務 社会･産業インフラシステム社社長、2011年 4月技監。2013年 4月 より現職。

仲野　哲人　 日本工営（株）鉄道事業部　鉄道計画部　次長

モンゴル政府は南ゴビ地域で産出する世界最大規模の地下資源を中国、ロシア、韓国および我国へ輸出し、得た外貨を原資とし同国の経済開発を推進している。現在、採掘された石炭は道路輸送に依存しているが、大量輸送力、経済性、速達性等を追求すべく南ゴビから中国およびロシア国境に延びる横断鉄道の開発事業に着手した。我が国に存在しない高軸重長大編成鉄道輸送について紹介する。

1987年中央大学理工学部卒業。同年、本邦建設会社に入社し、国内現場を経て海外鉄道工事に従事。1998年に日本工営（株）に入社し、様々な国での開発調査に従事後、2006 年～2013 年はインド幹線貨物鉄道事業に従事し、2013年よりモンゴル横断鉄道建設事業開発事務所所長。

平木　哲　 公益社団法人日本気象学会 会員

天気予報やそのために必要な近代的気象観測網の構築は、19世紀中ごろのクリミア戦争を契機として発展してきた。さらに、電子計算機を利用して天気予報を行う数値予報は1950年代に開始され、計算機の発展・観測技術の進歩・気象学の理解と相まって発展してきた。天気予報や数値予報の概要について解説するとともに、数値予報について私見を述べる。

1976年東京大学大学院理学系研究科博士課程退学後、気象庁に入庁。1977年から気象庁予報部電子計算室において数値予報の開発に従事、2004 年気象庁予報部長就任、2006 年気象庁長官就任。2009 年気象庁退職。同年財団法人気象業務支援センター理事長就任。2010年財団法人気象業務支援センター退職。理学博士。

平野輝美　創造工学研究所 所長、平野技術士事務所 代表

1960年代に成長の限界が指摘され、人にとって地球環境が無限ではないことが認識された。近年、単位面積あたりの農作物生産量を累乗で増大させる可能性を秘めている「植物工場」が注目されている。これは、強く求められる食の安全と安心を確保する効果的な手法でもある。講演では、植物工場の歴史と特徴、植物工場システムの現状、期待される効果と課題について紹介する。

1986 年東京理科大学大学院修士課程修了後印刷会社研究所勤務。2002 年 9 月 平野技術士事務所設立。2003 年 8 月　有限会社納諾相研究所　取締役所長。2009年8月　創造工学研究所所長。2011年4月　株式会社ＧＧＫ代表取締役。2011年10月　株式会社技術経営機構 常務執行取締役。2013年11月株式会社Greenway 常務執行取締役。